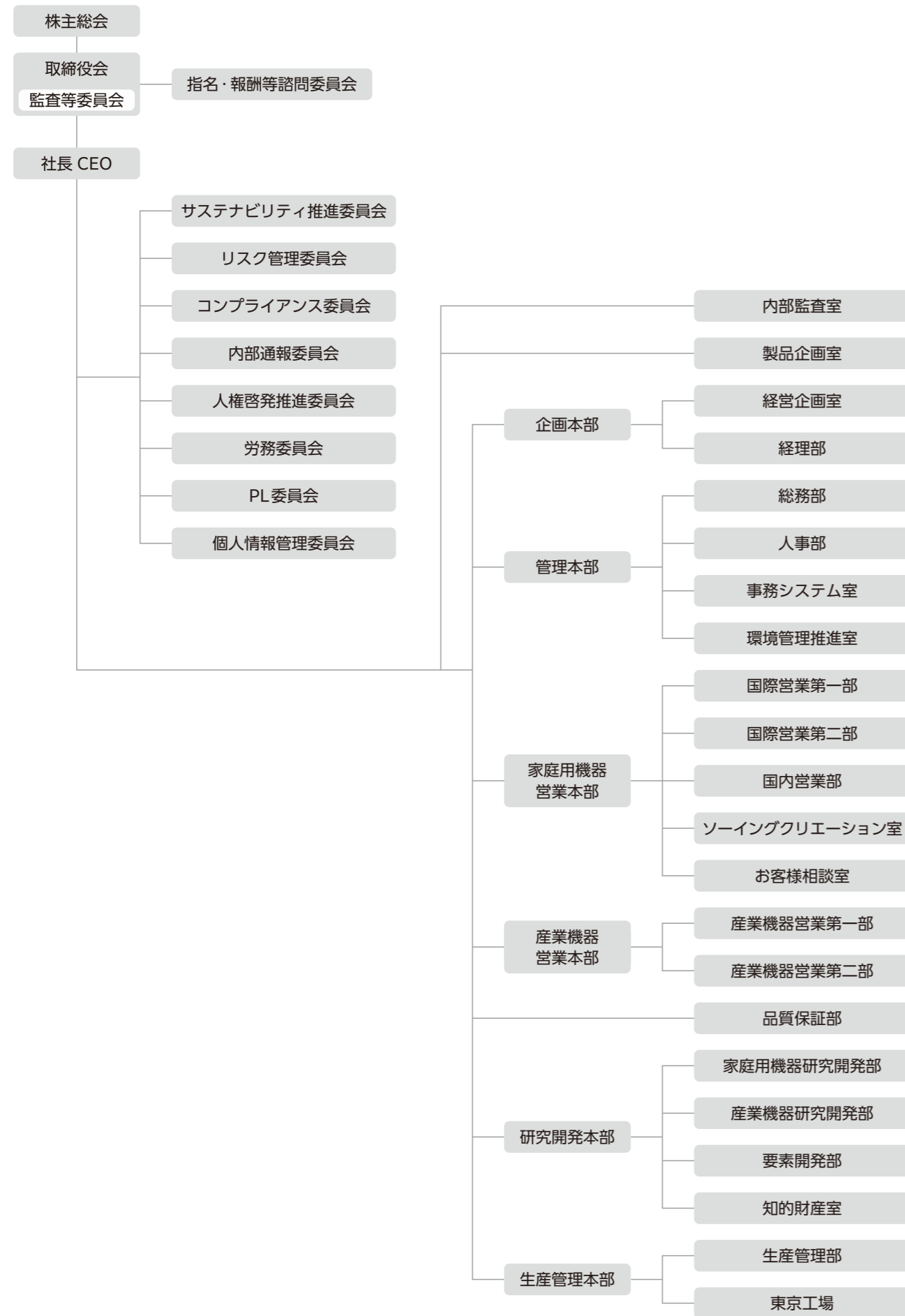


組織図 (2022年4月1日現在)



年表

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事   |
|------|---|--|
| 1921 | 10 小瀬與作、飛松謹一、龜松茂とともに東京滝野川にパイン裁縫機械製作所を創設<br>小型ミシンの製作を開始  |  |
| 1923 | 1 滝野川工場の拡張を行い、家庭用標準型15種ミシンの製造に着手  | 9 関東大震災  |
| 1926 |   | 12 大正天皇崩御、「昭和」と改元  |
| 1927 |   | 3 金融恐慌始まる  |
| 1928 |   | 2 最初の普通選挙施行  |
| 1929 | 3 小瀬與作、国産初の標準型本縫ミシン「パイン100種30型」を完成<br>11 国産ミシン初の法人会社パインミシン株式会社設立  | 10 ニューヨーク株式市場大暴落、世界恐慌始まる   |
| 1930 | 7 パインミシン、政府選定の「優良純国産百種」に選ばれる<br>10 月掛予約・月賦販売を創案<br>12 月掛予約・月賦販売を東京市内の一部地区にて実施   | - 世界恐慌、日本に波及   |
| 1931 | 10 社名を国産パインミシン株式会社に変更   | 9 満州事変勃発   |
| 1932 |   | 5 5.15事件、犬養毅首相暗殺される  |
| 1933 | 4 大阪の部品工場を吸収し、国産パインミシン恵美須工場とする<br>12 小瀬、飛松・龜松の両氏と方針を違える<br>飛松取締役辞任  | - 日本の綿布輸出量、世界第1位となる  |
| 1934 | 2 小瀬、中野に新工場設立<br>4 国産パインミシン本社を丸ノ内昭和ビルから中野に移す<br>龜松取締役辞任<br>6 東京、大阪、横浜、甲府、神戸の各支社で、月掛予約・月賦販売を実施<br>7 小瀬、「蛇の目ミシン」の商標登録を申請<br>9 嶋田卓彌顧問に就任、「企画宣伝部」発足<br>中野工場敷地内に、日本洋裁学校を設立 |  |
| 1935 | 4 新工場建設のため長澤寸美遠を招聘<br>11 社名を帝国ミシン株式会社に変更<br>「蛇の目ミシン」商標、正式認可<br>12 川本日出生、中国市場を開拓。国産ミシン最初の海外輸出。商標名は「SEA-GULL」   | - 輸出入統制始まる<br>- 月賦販売流行(金額40~50円、品物では洋服、自転車など)                      |
| 1936 | 4 前田増三、大阪支店に入社、ミシンの海外輸出を促進<br>5 日本初のミシン量産工場、小金井工場竣工<br>6 工場敷地内にミシンテーブル製造工場を建て、帝国ミシン木工部を開設<br>8 本社を日本橋区江戸橋の加賀ビル内に移す<br>11 恵美須工場閉鎖                                      | 2 2.26事件   |
| 1937 | 1 本社内に「輸出部」発足<br>3 小金井工場新館完成<br>5 販売員育成指導のため「Our Salesman-ship」を刊行<br>11 小瀬、東京ミシン製造工業組合の初代理事長に就任<br>- 第1回支店長会議を開催   | 7 盧溝橋事件、日中戦争勃発<br>9 輸出入品等臨時措置法公布<br>戦時経済体制に入る                      |
| 1938 |   | 4 国家総動員法公布   |
| 1939 | 1 工場生産拡充のため、少年工募集の対策を講じる  | 7 日米通商条約廃棄、国民徴用令公布   |
| 1940 | 5 ミシンの公定価格決定により、月掛予約販売は大きな打撃を受ける<br>7 下期(7月)以降の月掛予約販売新規契約を停止  |  |
| 1941 | 7 工業用電動ミシンおよび特殊ミシンの本格生産に入る<br>11 埼玉県羽生町の羽生鉄工所を買収し、羽生工場として中ガマを製造   | 4 日ソ中立条約調印<br>8 日米交渉開始<br>12 真珠湾を攻撃、太平洋戦争勃発<br>- 防空ずきん、もんぺ、ゲートル姿急増 |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事  |
|------|---|---|
| 1942 | 3 国内における月賦販売活動を停止<br>7 三菱重工業の要請により、陸軍戦車部品の治工具製作を開始<br>12 当社ミシン生産額が全国産ミシンの50%に達す   | 4 米機、日本初空襲  |
| 1943 | 5 塩谷製針研究所に出資、広島製針工場としてミシン針の製造を開始<br>6 海軍艦政本部より沖電気(現沖電気工業)との業務提携を申し入れられる<br>小野連三社長、小瀬専務以下全役員が退陣、経営権を沖電気へ移譲   | 7 鉄製品製造制限規則に家庭用ミシンが追加される<br>10 統制会社令、軍需会社法公布  |
| 1944 | 2 社名を帝国精機製造株式会社に変更<br>軍部の要請により音響兵器(水中電波探知機)を製造  | 11 東京・大阪大空襲   |
| 1945 | 3 日本橋加賀ビルの本社が空襲により焼失、本社仮事務所を小金井工場内に設置<br>国内五十余の直営支店を全面閉鎖<br>8 小金井工場におけるミシンの生産再開<br>9 社名を帝国ミシン株式会社に復す  | 3 東京夜間大空襲<br>8 広島、長崎に原子爆弾投下される<br>終戦(15日)   |
| 1946 | 1 「帝国ミシン従業員組合」結成<br>6 ミシン製造会発足<br>前田増三の呼びかけにより家庭用ミシンの規格寸法統一に取り組む<br>7 社内に旧役員復帰運動起さる<br>12 年産1万337台  | 11 日本国憲法公布  |
| 1947 | 2 旧役員復帰運動に敗れ、前田・高木正一・阿部久明・丸山幸一等幹部13名が退社<br>9 蛇の目ミシン販売株式会社を銀座3丁目に設立  | 2 ミシン製造会により、HA-1型の標準図面が完成<br>4 労働基準法公布、独占禁止法公布<br>- もんぺ漸減、スカート漸増  |
| 1948 | 9 会社直営の蛇の目ミシン発売所を丸ノ内に開設、代理店募集を行う<br>11 本社を小金井工場内に移転<br>12 特約代理店200店に及ぶ  | 5 ミシン製造会を改組し、日本ミシン工業会を設立<br>10 GHQ、海外渡航を許可<br>- 男性のアロハシャツ、リーゼントスタイル流行<br>- 女性の超ロングスカート、いかり肩フレアコート流行                                   |
| 1949 | 1 社名を蛇の目ミシン株式会社に変更<br>- HA-1の量産開始   | 2 部品を含めた家庭用ミシンの全国規格寸法が統一される(家庭用HA-1型)<br>4 1ドル=360円の単一為替レートを設定<br>5 東京、大阪、名古屋三証券取引所再開<br>6 工業標準化(JIS)法(現産業標準化法)制定<br>11 ノーベル物理学賞に湯川秀樹 |
| 1950 | 2 東京国税局の差し押さえ処分を受ける<br>3 銀行取引の停止処分を受ける<br>4 山田忍三を招聘し、社長に就任<br>5 山田社長の整理方針、更生案が成案を得る<br>6 月産2,000台を目標に生産再開<br>蛇の目産業株式会社設立  | 6 朝鮮戦争勃発  |
| 1951 | 2 蛇の目ミシン東北販売株式会社を仙台に設立、東北地区における卸販売および月賦販売を開始<br>9 蛇の目ミシン関西販売株式会社を京都に設立、関西地区における卸販売および月賦販売を開始  | 1 ミシン公定価格撤廃<br>6 朝鮮戦争休戦の影響による繊維相場暴落、繊維不況<br>9 日米安全保障条約調印  |
| 1952 | 4 蛇の目ミシン東京販売株式会社を東銀座に設立、都内において月賦販売ならびに月掛予約販売を実施<br>蛇の目洋裁学院創立<br>5 ジグザグミシンの開発に着手<br>12 特約代理店400店に及ぶ  | 5 メーカー事件  |
| 1953 | 1 山田・嶋田の「伊豆山会談」<br>2 嶋田・川本・前田等11名が蛇の目ミシン東京販売株式会社に入社、復帰を果たす<br>7 直営組織を基盤とした月掛予約・月賦販売を開始<br>8 蛇の目ミシン東京販売と蛇の目ミシン関西販売を統合し、蛇の目ミシン販売株式会社とする<br>11 毎日新聞社主催「第2回新日本工業デザイン審査」において、小杉二郎デザインの320型ミシンが特選第一席となる | 2 NHK、テレビ放送開始<br>4 日米友好通商航海条約<br>7 朝鮮戦争休戦協定調印<br>8 民間放送テレビ放送開始  |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事   |
|------|---|--|
| 1953 | 12 第1回「花嫁大懸賞特売」を実施  |  |
| 1954 | 4 蛇の目産業と蛇の目ミシン販売を合併し、社名を蛇の目ミシン工業株式会社とする<br>6 HL-2 320型の量産に入る  | 4 第1回日本国際見本市、大阪で開催<br>7 防衛庁、自衛隊発足                                    |
| 1955 | 2 PR誌「ジャノメモード」創刊  | 3 日本生産性本部設立<br>12 原子力基本法公布   |
| 1956 | 4 HA-1とHL-2が、業界初の「JIS規格合格品」に指定され、JISマーク表示許可<br>12 直営支店数100店に及び  | 12 日本の国際連合加盟   |
| 1957 | 7 当社初のセミオートジグザグミシン532型完成、輸出される<br>12 小金井工場、「工業標準化実施優良工場」として東京通商産業局長賞を受ける<br>輸出用セミオートジグザグミシン534型開発   | 1 南極に昭和基地設営<br>3 日本銀行、公定歩合引き上げ(金融引き締め政策)                             |
| 1958 | 10 小金井工場にマンモス機械工場完成   | 12 一万円札発行<br>- 家庭電化進む  |
| 1959 | 2 国産ミシン1,500万台達成記念式典挙行<br>4 ツートンカラーの直線縫ミシン HL-2 350型発売<br>8 本社を中央区日本橋2丁目大同ビルより中央区日本橋通3丁目4番地に移転<br>10 輸出用セミジグザグミシン553型開発<br>三光ミシン工業株式会社を買収   | 4 皇太子(後の明仁上皇)ご成婚<br>9 伊勢湾台風  |
| 1960 | 5 アメリカ、ニューホーム・ソーイングマシン社買収の調印式行われる<br>9 ニューホーム・ソーイングマシン社(現ジャノメアメリカ株式会社)発足  | 1 日米新安保条約調印<br>9 カラーテレビ本放送開始<br>12 国民所得倍増計画が閣議決定される                  |
| 1961 | 4 フルオートジグザグミシン560型および職業用ミシン761型全国一斉発売<br>セミオートジグザグミシン532型国内発売<br>5 嶋田卓彌 社長に就任<br>10 関東・東海・関西の各支店でジグザグ教室を開講<br>11 八王子市・高尾に10万㎡の土地を買収<br>12 直営支店数325店に及び                                  | 4 ソ連、初の有人宇宙飛行<br>5 韓国に軍事クーデター<br>資本取引の自由化実施<br>7 株式大暴落。金融引き締め        |
| 1962 | 9 東京証券取引所市場第二部へ上場<br>10 新製品発売を記念して「アベックセール」大懸賞打ち出し  | 10 貿易自由化始まる(88%)<br>金融引き締め解除、景気回復始まる<br>- 夏、スーパーマーケットの進出             |
| 1963 | 1 大阪証券取引所市場第二部に上場<br>4 蛇の目電機株式会社設立<br>9 ダイカスト工場竣工<br>11 東証・大証一部へ昇格<br>12 直営支店数450店に及び   | 11 アメリカ・ケネディ大統領暗殺、通信衛星で日米間テレビ衛星中継<br>- 農家人口・戸数の減少続く                  |
| 1964 | 7 ドリーナミシン有限会社設立(西ドイツパフ社との合併会社)<br>10 東京オリンピック開催記念モデル「ハイドリーム」670型発売<br>八王子市・高尾に蛇の目ミシン技術研究所竣工<br>11 東海木工株式会社、蛇の目精器株式会社に社名を変更<br>12 ミシン業界初の月間出荷6万台突破を達成                                    | 4 OECD(経済開発協力機構)加盟<br>10 東京オリンピック開催<br>東海道新幹線開業<br>- ニットウェア、ノースリーブ流行 |
| 1965 | 3 蛇の目不動産株式会社設立<br>「ハイドリーム」670型、グッドデザイン賞を受賞<br>9 フルオートジグザグミシン「ハイエース」671型発売。ジグザグミシンの付属装置「フラワーステッチ」発売<br>中央区京橋に本社ビル完成、3か所に分散していた本社機能を集約<br>商標レタリング「蛇の目ミシン」を「ジャノメミシン」に変更<br>10 「ハイハイセール」始まる | 6 日韓基本条約調印<br>10 ノーベル物理学賞に朝永振一郎                                      |
| 1966 | 10 大型コンピュータIBM360を導入、電算室の開所式を行う   | 5 中国・文化大革命起こる<br>6 国民祝日法が改正され、敬老の日・体育の日など決まる                         |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事   |
|------|---|--|
| 1967 | 2 京都証券取引所に上場<br>4 スーパーフルオートジグザグミシン「ダイヤルスーパー」672型発売<br>蛇の目精密工業株式会社設立   | 6 中東戦争勃発   |
| 1968 | 3 当社株式、東京証券取引所貸借銘柄に指定される<br>10 ヨーロッパ・ジャノメミシン(現ジャノメUK)株式会社設立<br>11 前田増三 社長に就任  | 7 郵便番号制発足<br>9 水俣病を公害と認定<br>10 ノーベル文学賞に川端康成  |
| 1969 | 4 台湾・ジャノメミシン(現ジャノメ台湾)株式会社設立<br>8 沖繩蛇の目販売株式会社設立<br>11 蛇の目金属工業(現ジャノメダイカスト)株式会社設立<br>12 オーストラリア・ジャノメミシン(現ジャノメオーストラリア)株式会社設立  | 5 初の公害白書発表<br>いざなぎ景気(好況長期継続新記録)<br>7 アメリカのアポロ11号、月面着陸に成功   |
| 1970 | 4 日本万国博覧会記念モデル「ダイヤルスーパー'70」680型発売<br>小瀬、勲三等瑞宝章を受章<br>5 当社初の家庭用全回転ガマを装着した輸出用672型発売<br>7 女子学生向けの夏休みジグザグ教室、全国一斉に開講<br>8 「ダイヤルスーパー'70」、グッドデザイン賞を受賞<br>9 当社、ミシン生産累計1,000万台達成<br>10 株式会社蛇の目電算センター(現ジャノメレディア)設立<br>12 直営支店数530店に及び | 3 大阪で日本万国博覧会開幕<br>よど号ハイジャック事件  |
| 1971 | 4 創業50周年記念モデル、スーパーフルオートジグザグミシン「ジャノメトピア」801型発売<br>5 創業50周年を記念して、年7分特配を発表<br>10 蛇の目電算センター、「インプリンター」発売<br>創業50周年記念式典挙行(於：ホテルオークラ)  | 8 アメリカ・ニクソン大統領、ドルと金との交換停止など、ドル防衛緊急対策を発表(ニクソン・ショック)   |
| 1972 | 4 ホームソーイング教室開講<br>「ジャノメフィットパターン」発売<br>12 「トピアエース」802型発売   | 2 冬季オリンピック・札幌大会開催<br>5 沖繩返還、沖縄県発足<br>6 ウォーターゲート事件<br>9 日中共同声明発表、日中国交回復   |
| 1973 | 9 千葉に柏ソーイングセンター開設<br>10 大阪ソーイングセンター開設   | 1 ベトナム和平協定、パリで正式調印<br>8 韓国の金大中誘拐事件発生<br>10 エジプト・シリア軍、イスラエルと戦闘開始(第四次中東戦争)<br>OPEC(石油輸出国機構)、原油価格の値上げと原油生産の段階的削減を決定(第一次オイルショック) |
| 1974 | 8 「トピアレーヌ」804型発売<br>11 高木正一 社長に就任   | 4 モナ・リザ展、東京国立博物館で開催<br>5 セブン・イレブン、東京豊洲に1号店開店<br>8 アメリカ、ウォーターゲート事件でニクソン大統領辞任  |
| 1975 | 1 創業者 小瀬與作死去<br>3 東京支店ソーイングセンター開設(京橋本社ビル内)<br>8 コンピュータミシンの開発に着手   | 4 サイゴン陥落、ベトナム戦争終結<br>5 イギリス、エリザベス女王夫妻が訪日<br>7 沖繩国際海洋博覧会開幕<br>9 昭和天皇、皇后両陛下、アメリカを公式訪問  |
| 1976 | 4 フリーアームミシン「エクセル」813型発売<br>技術研究所の江口保賢が家庭用全回転ガマの開発で、「科学技術庁長官賞」を受賞  | 4 中国、北京で天安門事件発生<br>7 田中角栄前首相、ロッキード事件で逮捕<br>9 中国、毛沢東共産党主席死去   |
| 1977 | 11 カナダ・ジャノメミシン(現ジャノメカナダ)株式会社設立<br>12 直営支店数540店に及び   | 5 領海12カイリ、200カイリ漁業水域設定法案、可決成立<br>9 日航機ハイジャック、ダッカ空港に強制着陸<br>12 リニアモーターカー、世界初の浮上走行に成功  |
| 1978 | 3 ニュージーランド・ジャノメミシン(現ジャノメニュージーランド)株式会社設立<br>5 「電子エクセル」814型、815型発売  | 5 新東京国際空港(現成田国際空港)開港<br>8 日中平和友好条約調印<br>12 OPEC、原油価格値上げを発表(第二次オイルショック)   |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事   |
|------|---|--|
| 1979 | 2 三光マシン工業、トピア工業株式会社に社名を変更<br>4 国産初のコンピュータマシン「メモリア」5001型発売   | 3 アメリカ・スリーマイル島原発で放射能漏れ発生<br>6 東京サミット開催<br>10 韓国、朴正熙大統領暗殺   |
| 1980 | 9 真空注型脱泡装置を発売<br>10 アメリカのシアーズ・ローバック社と輸出取引契約締結   | 1 エジプトとイスラエル、国交樹立<br>6 大平正芳首相急死、内閣総辞職<br>7 モスクワ・オリンピック開幕、IOC加盟国ボイコット<br>9 イラン・イラク戦争勃発                  |
| 1981 | 4 蛇の目開発株式会社設立<br>6 斎藤悟 社長に就任<br>11 ロックー体型マシン「ツーインワン」624型発売  | 1 アメリカ、レーガン大統領就任<br>5 フランス、ミッテラン大統領就任<br>9 フランス、パリ〜リヨン間でTGV運行開始<br>10 ノーベル化学賞に福井謙一                     |
| 1982 | 10 「ジグザグ教室」と「ホームソーイング教室」を統合・再編成し、新たに「ソーイングクラフト教室」発足   | 2 日航機羽田沖墜落<br>4 フォークランド紛争勃発<br>6 東北新幹線開業<br>11 上越新幹線開業   |
| 1983 | 6 「メモリークラフト6000」発売<br>カラープリンター「CP-1」開発<br>8 当社グループ、マシン生産累計2,000万台達成<br>10 コンパクトFDD「ジャノメFMD-80」開発<br>12 「メモリークラフト6000」、グッドデザイン賞を受賞   | 4 東京ディズニーランド開園<br>5 日本海中部地震発生(M7.7)<br>9 大韓航空機をソ連空軍機が撃墜  |
| 1984 | 4 ジャノメスポーツプラザ高尾オープン<br>エレクトロプレス「JP-20」を蛇の目電機にて発売<br>5 「全自動真空注型装置8100」発売   | 9 全斗煥大統領、現職韓国大統領として初来日<br>12 イギリス・中国、香港返還合意文書に調印   |
| 1985 | 4 ニューホーム社創業125周年記念式典を挙行<br>5 羽毛ふとん「ジャノメマシン・エアミー」発売<br>「ジャノメロック」782型発売<br>8 ジャノメ・レディス制度発足<br>9 真空多機能成型装置開発、簡易成型製品の受注を開始<br>12 空気清浄機発売  | 3 ゴルバチョフ、ソ連共産党書記長就任<br>4 電電公社がNTT、日本専売公社がJTに民営化<br>8 日航機、群馬県上野村・御巣鷹尾根に墜落<br>9 G5でプラザ合意、以降円高が加速         |
| 1986 | 2 当社株式注意銘柄指定<br>4 CAI教育事業開始<br>5 第1回蛇の目マシン協会の総会開催<br>6 コンピュータネーム刺しゅう機発売(MIZUNOブランド)<br>「コンビDX2000」発売<br>小宮山宇一 社長に就任、斎藤洋 副社長に就任<br>9 雇用販売員制度発足<br>12 エレクトロプレス「ELECTRO PRESSシリーズ」発売   | 1 アメリカ、スペースシャトルが打ち上げ直後に爆発<br>4 ソ連、ウクライナ・チェルノブイリ原発で大規模爆発事故発生<br>男女雇用機会均等法施行<br>11 伊豆大島・三原山が噴火、全島民が島外に避難 |
| 1987 | 1 自由が丘にジャノメ・ソーイング・アトリエ「TASTY」開店<br>2 フランチャイズ1号店「FCジャノメ紋別」開店<br>3 光進31,000,000株、小谷光浩3,000,000株名義書き換え(光進保有32,556,000株、ナナトミ保有22,529,000株)<br>4 蛇の目興産株式会社設立、パブレストラン「うすけぼー」開店<br>5 「センサークラフト7000」発売<br>6 小谷氏取締役就任<br>8 サッカー練習機「キックマスター」発売<br>収納ベッド「ひろ〜い」発売<br>9 トイレ脱臭機「ニオイドロボー」発売<br>10 台湾ジャノメマシン販売株式会社設立<br>12 インスタント証明写真用カメラ「フォトミラー」発売<br>サハ・パタナ・インターホールディング社とタイ国での合併会社設立の契約調印 | 4 国鉄が分割・民営化、JRグループ7社発足<br>NTTが携帯電話サービス開始<br>10 ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー)、世界同時株安<br>ノーベル生理学・医学賞に利根川進      |
| 1988 | 3 レストラン「蘭うすけぼー」、スポーツプラザ高尾内に開店<br>当社株式株主数不足により上場基準抵触(猶予期間1年)<br>4 小宮山社長辞任<br>5 斎藤洋副社長 社長代行に就任  | 2 韓国、盧泰愚大統領就任<br>3 青函トンネル開業<br>東京ドーム完成<br>4 瀬戸大橋開通   |

| 年    | ジャノメの出来事   | 社会の出来事  |
|------|--|---|
|      | 5 アメリカのシアーズ・ローバック社よりパートナーズ・イン・プログレス(PIP)賞が贈られる(以降2007年度まで21年連続受賞)<br>6 販売員・集金員資格制度の改定<br>森田暁 社長に就任<br>9 ジェーマック株式会社設立<br>タイ・ジャノメ(現ジャノメタイランド)株式会社設立<br>10 リモコン式オートカーテンシステム「開君」発売<br>株式会社ジェー・シー・エル設立<br>クリーンパスユニット「湯あがり美人」発売<br>11 販売員制度改定、新たに雇用契約販売員制度、パートレディス制度を導入<br>12 毛筆プロッター「ふでがき」発売  | 7 海上自衛隊潜水艦「なだしお」と遊漁船「第一富士丸」衝突<br>8 イラン・イラク戦争終結                                      |
| 1989 | 1 新企業理念公表<br>2 株式会社ジャポー設立<br>5 タイ工場竣工、マシン用モーター・コントローラー生産開始<br>6 株式会社ジェー・ピー・エス設立<br>機構改革を実施(事業部制の導入他)<br>7 池袋に「スパイス・フェスタ」開店<br>小谷、証券取引法違反で逮捕<br>8 ジェー・シー・エルよりナナトミに300億円融資<br>9 本社1階にJ-PARKオープン<br>株式会社ユーコム設立<br>10 簡易型製造装置「MIM(ミムちゃん)」発売<br>11 企業年金制度導入<br>森田社長辞任、斎藤洋 社長に就任<br>ニューホームクレジット株式会社設立<br>12 「シクレール」ブランドで化粧品事業進出<br>「湯あがり美人(屋内型)」をジェー・シー・エルで発売  | 1 昭和天皇崩御、「平成」と改元<br>4 消費税導入(3%)<br>6 中国、第二次天安門事件<br>9 文部省、「大学設置基準」改正<br>11 ベルリンの壁崩壊 |
| 1990 | 1 直営支店で「湯名人」発売<br>全社的企業変革運動「ジャンプアップ70」発表<br>5 集金員制度廃止<br>6 世界初の刺しゅう機能付き家庭用コンピュータマシン発売<br>7 ドリーナマシン有限公司清算発表<br>JANOME J's CLUBカード発行<br>9 小谷取締役辞任<br>10 蛇の目精器・蛇の目電機・蛇の目精密工業・蛇の目金属工業を合併し、それぞれ小金井第二・高尾第一・高尾第二・山梨工場とする<br>生産子会社4社統合に伴い技術研究所、各工場にグループ制導入   | 8 イラク軍、クウェートへ侵攻<br>10 東西ドイツ統一<br>11 天皇即位の礼<br>長崎県、雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火                   |
| 1991 | 1 斎藤洋社長辞任、奥村正巳 社長に就任<br>2 創業70周年記念モデルとして、刺しゅう機能付きコンピュータマシン「セシオ(SECIO)」とジグザク&ロックマシンコンビ「2300SX」発売<br>3 小谷を恐喝容疑で告訴<br>当社株式問題の処理を含む再建計画を発表<br>4 「湯名人コンパクト」発売<br>5 経営構造改革推進委員会の答申(経営構造改革3カ年計画)出る<br>6 経営構造改革実行委員会発足<br>アマダグループと産業機器の共同開発に関する業務提携<br>クリーンパス事業部が発足<br>ソ連向けに家庭用マシンの直接輸出開始<br>9 小金井地区の2工場を統合し小金井工場とし、高尾地区の2工場を統合し高尾工場とする<br>10 「スケッチランドIS型」発売<br>育児休業制度・フレックス定年制度を導入<br>タイジャノメ、マシン組立ライン完成<br>11 蛇の目従業員持株会発足<br>フレックスタイム制度を導入<br>12 ジェー・シー・エル特別清算申立て、高尾地区土地・建物の一部を売却 | 1 多国籍軍によるイラク軍攻撃、湾岸戦争勃発<br>2 バブル景気(1986年12月~1991年2月)終結<br>6 東北・上越新幹線、全線開業<br>12 ソ連崩壊 |
| 1992 | 1 ユーコム、特別清算申立て<br>4 小谷・光進、破産宣告<br>「New湯名人」発売   | 4 育児休業法施行<br>9 スペースシャトルに毛利衛飛行士が搭乗   |

| 年    | ジャノメの出来事   | 社会の出来事  |
|------|--|---|
| 1992 | 5 24時間風呂協議会設立、当社が幹事就任<br>8 日立家電(現日立製作所)とグリーンバス供給契約締結<br>当社ミシンの年間輸出台数が10万台を突破<br>10 社友オーナー店制度発足<br>11 台湾ジャノメ工場増築  |   |
| 1993 | 2 当社製マグネシウム鋳造品を搭載した天文衛星「あすか」が打ち上げに成功<br>3 エレクトロプレス「JP-3002」発売<br>4 卓上ロボット「JR500」発売<br>6 アルカリイオン整水器「クリスタルメイト」発売<br>観賞魚飼育システム「クリスタルパーク」「ロカメイト」(ろ過装置単体)発売<br>末永貞二 社長に就任<br>8 株主2人が元社長らに対し、株主代表訴訟を提訴<br>高尾新工場(現東京工場)竣工<br>10 24時間風呂を松下電工(現パナソニック)と共同受注開始<br>11 「バス・エース」を北陸電力子会社と共同受注開始 | 5 サッカーJリーグ発足<br>11 欧州連合(EU)発足   |
| 1994 | 1 六角穴付き止めねじ自動供給機「ろっかくくん」発売<br>4 台湾ジャノメ創立25周年記念式典挙行<br>8 本社機能が京橋本社と小金井本社の2つに分かれる<br>9 自動洗浄機能付き「湯名人スーパー」発売<br>10 コンピュータミシン「セシオ EX」発売<br>11 卓上ロボット「JR750」発売   | 7 製造物責任法(PL法)公布<br>9 関西国際空港開港<br>10 ノーベル文学賞に大江健三郎   |
| 1995 | 2 当社グループ、ミシン生産累計3,000万台達成<br>3 社内報「エコ」休刊<br>当社ミシンの年間海外販売台数が100万台を突破<br>4 台湾ジャノメ、ミシン生産累計1,000万台達成<br>12 「バス・エースGX」発売<br>台湾ジャノメISO9002認証取得   | 1 阪神・淡路大震災発生<br>3 地下鉄サリン事件  |
| 1996 | 3 本社1階に「ぼすたるプラザ」オープン<br>5 エレクトロプレス「JPシリーズ」発売<br>9 電力3社との共同開発による深夜電力対応型家庭用24時間風呂「バス・エースGXN」発売   | 6 病原性大腸菌O-157食中毒流行<br>12 レジオネラ属菌騒動<br>- 携帯電話急増  |
| 1997 | 1 蛇の目不動産・ニューホームクレジットの清算発表<br>2 第3次経営構造改革中期計画発表<br>3 京橋本社ビル売却<br>小谷300億円恐喝事件、地裁判決(懲役7年)<br>末永社長辞任<br>4 関浩一 社長に就任<br>7 「湯名人スーパーZ」発売<br>10 新経営構造改革計画(Sプラン)発表<br>12 株式会社ジャノメ北海道販売設立<br>希望退職募集(1998年1月15日付223名)<br>高尾工場ISO9002認証取得<br>ジャボー清算  | 4 消費税率5%に引き上げ<br>7 イギリスから中国へ香港返還<br>アジア通貨危機<br>11 北海道拓殖銀行、山一証券が破綻<br>12 地球温暖化防止京都会議で「京都議定書」採択 |
| 1998 | 1 小金井工場の土地売却<br>2 小金井工場機能を高尾工場に統合、名称を「東京工場」に変更<br>サービス事業部門をジェー・ピー・エスに統合し、名称を株式会社ジャノメサービスとする<br>4 ジャノメラテンアメリカ有限会社設立<br>5 スカラロボット「SR4400シリーズ」発売<br>8 「マイロックコンピュータ270A」発売   | 2 冬季オリンピック・長野大会開催<br>4 老年人口が初めて年少人口(15歳未満)を上回る<br>12 特定非営利活動促進法(NPO法)施行                       |
| 1999 | 4 アルカリイオン整水器「湧銘水」発売<br>5 ニューホーム・ソーイングマシンがジャノメアメリカ株式会社に社名を変更<br>6 ジャノメヨーロッパ有限会社(現ジャノメヨーロッパ株式会社)設立<br>執行役員制度導入<br>10 コーポレートサイト公開   | 1 欧州に単一通貨「ユーロ」誕生<br>6 男女共同参画社会基本法施行<br>10 世界の推計人口が60億人を突破                                     |

| 年    | ジャノメの出来事   | 社会の出来事  |
|------|--|---|
| 2000 | 2 モバイルコンピュータ搭載ネーム刺しゅう機発売<br>「バス・エース1000」「バス・エース2000」発売<br>4 タイジャノメISO9002認証取得<br>8 ラスベガスにて「Memory Craft10000」発表<br>高剛性小型卓上ロボット「JR2200mini」発売<br>10 東京工場ISO14001認証取得<br>11 「バス・エース4000」発売<br>12 卓上ロボット「JR2000シリーズ」発売  | 4 介護保険制度発足<br>9 三宅島噴火(7月)で全島避難指示発令<br>10 ノーベル化学賞に白川英樹<br>- 「ITバブル」崩壊  |
| 2001 | 3 株主代表訴訟判決(東京地裁)小谷に939億円の損害賠償命令確定。他の旧経営陣の責任は否定されたが株主が控訴<br>6 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「スーパーセシオ」9500型発売<br>山梨工場(現ジャノメダイカスト)ISO9001認証取得<br>10 女性用事務服を廃止  | 1 中央省庁再編、1府12省庁発足<br>9 アメリカ同時多発テロ発生<br>10 アメリカを中心とする多国籍軍、アフガニスタンに侵襲開始<br>11 WTO(世界貿易機関)、中国の加盟を承認  |
| 2002 | 1 新3カ年計画発表<br>3 ジャノメヨーロッパをジャノメオランダ株式会社に社名を変更<br>4 山梨工場を分社化、ジャノメダイカスト株式会社設立<br>5 台湾ジャノメISO14001認証取得<br>6 ジャノメダイカストタイ(現ジャノメダイカストタイランド)株式会社設立<br>11 当社グループ、ミシン生産累計4,000万台達成   | 1 EUの共通通貨「ユーロ」流通開始<br>4 小・中学校新学習指導要領に移行、完全週5日制導入<br>5 FIFAワールドカップ日韓共同開催<br>7 工場等制限法廃止<br>8 住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)稼働<br>10 ノーベル物理学賞に小柴昌俊、化学賞に田中耕一 |
| 2003 | 1 技術研究所内に産業技術研修センター開設<br>2 大阪証券取引所上場廃止<br>4 一般職と総合職の区分廃止<br>6 加藤澄一 社長に就任<br>8 「湯名人スーパーCL」発売<br>9 小谷300億円恐喝事件、上告棄却(懲役7年確定)<br>10 スカラロボット「JSシリーズ」発売  | 3 米英軍がイラク攻撃開始<br>4 日本郵政公社発足<br>新型肺炎SARSが世界に拡大<br>5 個人情報保護法公布<br>12 テレビ地上デジタル放送開始  |
| 2004 | 2 蛇の目ミシン労働組合と蛇の目ミシン従業員組合が合併し、蛇の目ミシン従業員組合と称す<br>エレクトロプレス「JPEシリーズ」発売<br>3 ジャノメ北海道販売解散<br>5 新2カ年計画(Step2PLAN)発表<br>日本ホビーショーに初出展<br>6 高速直線ミシン「COSTURA767DB」発売<br>7 ジャノメダイカストタイISO9001認証取得<br>9 小型卓上ロボット「JR2000Nシリーズ」発売<br>11 台湾ジャノメ、ミシン生産累計2,000万台達成<br>12 タイジャノメISO14001認証取得                          | 1 自衛隊のイラク派遣開始<br>3 労働者派遣法改正<br>9 原油価格高騰<br>10 新潟県中越地震発生<br>12 スマトラ島沖大地震発生   |
| 2005 | 3 研究開発本部ISO9001認証取得<br>5 JIAM2005に家庭用ミシンで初出展<br>6 「円貨連転換社債型新株予約権付社債(MSCB)」発行決議、25億円払込期日<br>本社にて「クール・ビズ運動」展開<br>7 エレクトロプレス「JPシリーズ4」発売<br>8 MSCB転換完了、発行済株式総数172,064,320株、資本金88億7,300万円に<br>10 国際航業株式10,635,000株(@506円)、ジェイ・ブリッジに売却<br>蛇の目吉祥寺ビルに「ショップ吉祥寺」オープン<br>11 第2回MSCB発行決議<br>12 第2回MSCB25億円払込期日 | 2 京都議定書発効<br>中部国際空港開港<br>3 愛知万博開幕<br>4 個人情報保護法全面施行<br>12 耐震強度偽装問題発覚   |
| 2006 | 1 第2回MSCB転換完了、発行済株式総数184,083,550株、資本金101億2,300万円に<br>コミットメントライン設定契約締結(総額50億円：りそな、あおぞら、三菱東京UFJ、三井住友)<br>大型刺しゅう機能内蔵コンピュータミシン「セシオ11000」発売<br>2 第3回MSCB発行決議<br>3 第3回MSCB25億円払込期日<br>飛島建設との債務履行控訴訴訟、和解(和解金5億円)  | 2 世界の推計人口が65億人を突破<br>4 JR西日本福知山線脱線事故<br>5 会社法施行<br>9 タイで軍事クーデター発生   |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事   |
|------|---|--|
| 2006 | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 コンプライアンス委員会発足<br/>第3回MSCB転換完了、発行済株式総数195,214,448株、資本金113億7,300万円に</li> <li>5 2か年計画(JUMP-2PLAN)発表</li> <li>6 産業機器 名古屋営業所開設</li> <li>8 エルナ社(Elna International Corporation)を買収<br/>エルナアメリカ株式会社設立<br/>株式会社サン・プランニングを100%子会社として設立</li> </ul>   |  |
| 2007 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ジャノメオランダがジャノメヨーロッパ株式会社に社名を変更<br/>東京国際キルトフェスティバル(東京ドーム)に協賛・初出展</li> <li>2 宝生ミシン製造株式会社・ホウセイ工業株式会社を買収</li> <li>3 1頭4針刺しゅう機[MB-4]国内発売</li> <li>6 16年半ぶりの配当実施(1株当たり2円)</li> <li>8 ジャノメインダストリアルエクイプメントアメリカ株式会社(JIE-USA)設立</li> <li>9 [elna6200][elna3230][elna3210]国内発売<br/>ジャノメタイランド、ミシン生産累計500万台達成<br/>ジャノメダイカスト新1号棟完成</li> <li>10 東京工場新2号棟完成</li> <li>11 家庭用アイロンプレス機エルナプレス[EP53]発売<br/>本社ISO9001認証取得</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 防衛省発足</li> <li>2 第1回東京マラソン大会開催<br/>社会保険庁の年金記録不備問題浮上</li> <li>6 アップル社がアメリカで初代「iPhone」を発売</li> <li>7 新潟県中越沖地震発生<br/>アメリカでサブプライムローンが問題化</li> <li>10 郵政民営化スタート</li> </ul> |
| 2008 | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 ソニーマニファクチュアリングシステムズ(現ソニーグローバルマニファクチュアリング&amp;オペレーションズ)より卓上ロボット事業を譲受、卓上ロボット「CASTシリーズ」発売</li> <li>4 ジャノメドイツ有限会社設立<br/>ジャノメインダストリアルエクイプメントヨーロッパ有限会社(JIE-Europe)設立<br/>株主代表訴訟判決(東京高等裁判所差し戻し控訴審)旧経営陣5名に583億円損害賠償判決、上告</li> <li>5 産業機器 福岡営業所開設</li> <li>7 当社グループ、ミシン生産累計5,000万台達成<br/>次世代認定マーク(くるみん)を取得</li> <li>9 研究開発本部ISO14001認証取得</li> <li>10 株主代表訴訟判決の上告棄却(差し戻し控訴審判決確定)</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>5 中国・四川大地震発生</li> <li>7 北海道洞爺湖サミット開催</li> <li>9 アメリカ発のリーマンショックで世界同時不況に</li> <li>10 ノーベル物理学賞に南部陽一郎・小林誠・益川敏英、化学賞に下村脩</li> </ul>   |
| 2009 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 大型刺しゅう機能内蔵コンピュータミシン「セシオ11500」発売</li> <li>4 東京工場新3号棟完成<br/>ジェーマック清算、ジャノメアメリカへ統合</li> <li>6 眞壁八郎 社長に就任<br/>宝生ミシン製造清算<br/>蛇の目興産清算</li> <li>7 本社機能を八王子地区事業所へ集約<br/>ジャノメメキシコサービス(現ジャノメメキシコ)有限会社設立</li> <li>9 トピア工業清算</li> <li>10 産業機器 大阪営業所開設</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 バラク・オバマがアフリカ系初のアメリカ大統領に就任</li> <li>3 日経平均株価、バブル後の安値を更新し7,054円98銭に</li> <li>5 裁判員制度開始<br/>大学への進学率が5割を超える</li> <li>6 新型インフルエンザ流行、WHO(世界保健機関)はパンデミックと宣言</li> </ul>       |
| 2010 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 エルナアメリカをジャノメアメリカに吸収合併</li> <li>2 高精度石膏鋳造小ロット鋳造法IIによる生産受託サービス開始</li> <li>3 ピンクリボン運動協賛</li> <li>5 ジャノメダイカストタイランドISO14001認証取得</li> <li>7 「メモリークラフト7700 HORIZON」国内発売</li> <li>8 エレクトロプレス「JP-Sシリーズ」発売</li> <li>10 中期経営計画「JANOME EVOLUTION 2012」発表<br/>「メモリークラフト7700 HORIZON」「ME830」がグッドデザイン賞を受賞<br/>行動憲章を制定</li> <li>11 インド「USHA International Ltd.」との業務提携発表</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 社会保険庁廃止、日本年金機構発足</li> <li>3 「平成の大合併」終結、市町村数が半減</li> <li>4 ギリシャ財政危機</li> <li>6 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還</li> <li>10 ノーベル化学賞に鈴木章、根岸英一</li> <li>12 東北新幹線、新青森まで全線開業</li> </ul>    |
| 2011 | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 車楽美機械設備(上海)有限公司(JIE-上海)設立</li> <li>7 コミュニティサイト「ENJOY!ミシン」を開設</li> <li>9 「JANOME Institute 2011」開催(アメリカ・フロリダ州オーランド)、「Memory Craft12000」を発表</li> <li>11 卓上ロボット「JR-Vシリーズ」発売</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 東日本大震災発生<br/>東京電力福島第一原子力発電所で爆発事故</li> <li>7 サッカー女子W杯で「なでしこジャパン」優勝<br/>テレビ放送がアナログ放送からデジタル放送に完全移行</li> <li>8 タイで大規模な洪水が発生</li> </ul>                                    |

| 年    | ジャノメの出来事   | 社会の出来事  |
|------|--|---|
|      |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>10 世界の推計人口が70億人を突破</li> </ul>  |
| 2012 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータミシン「DC6030」発売</li> <li>2 蛇の目赤羽ビル内に「ジャノメキルトギャラリー」を開設</li> <li>3 ショップ吉祥寺をリニューアルし、「Bobinage(ポビナーージュ)」オープン</li> <li>4 確定拠出年金制度導入</li> <li>10 コンピュータミシン「DC6030」がグッドデザイン・ベスト100を受賞</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5 国内の全原子力発電所が停止<br/>東京スカイツリー開業</li> <li>10 ノーベル生理学・医学賞に山中伸弥</li> <li>12 第46回衆議院総選挙で自民党が単独過半数の圧勝、政権交代へ</li> </ul>   |
| 2013 | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「セシオ9700」発売</li> <li>3 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「ハイパークラフト900」発売</li> <li>4 刺しゅうダウンロードサイト「刺しゅうのひきだし」オープン<br/>ジャノメブラジル有限会社を設立<br/>ジャノメタイランド、ミシン生産累計1,000万台達成</li> <li>5 直交ロボット「JC-2シリーズ」発売<br/>中期経営計画「JANOME EVOLUTION 2015」発表</li> <li>6 買収防衛策導入</li> <li>8 台湾車楽美機械設備股份有限公司(JIE-台湾)設立<br/>「JANOME Institute 2013」「Elna Impact 2013」開催(アメリカ・ネバダ州ラスベガス)、「Memory Craft15000」を発表</li> <li>10 当社グループ、ミシン生産累計6,000万台達成</li> <li>11 太陽光発電システム稼働</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>5 「マイナンバー法」が成立、2016年から利用開始</li> <li>6 富士山が世界文化遺産に決定</li> <li>8 国の借金残高が初めて1,000兆円を突破</li> <li>9 東京が2020年のオリンピック・パラリンピック開催地に決定</li> <li>12 特定秘密保護法公布</li> </ul>      |
| 2014 | <ul style="list-style-type: none"> <li>6 イオン長岡店に「ジャノメソーイングパーク長岡店」オープン</li> <li>10 卓上ロボット「JR3000シリーズ」発売</li> <li>11 女性の役員・管理職登用に関する自主行動計画を公表</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 消費税率8%に引き上げ</li> <li>6 中東で国際テロ組織ISISが「イスラム国家」樹立宣言</li> <li>9 御嶽山噴火</li> <li>10 ノーベル物理学賞に赤崎勇・天野浩・中村修二</li> </ul>  |
| 2015 | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 前払式割賦販売業務廃止<br/>ジャノメダイカスト新3号棟完成</li> <li>4 直交ロボット「JC-3シリーズ」発売</li> <li>6 眞壁社長 会長に就任、大場道夫 社長に就任</li> <li>7 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「セシオ14000」発売</li> <li>8 環境報告書発行<br/>「Impact Institute 2015」を開催(アメリカ・テキサス州サン・アントニオ)<br/>ジャノメ台湾、ミシン生産累計3,000万台達成</li> <li>9 車楽美機械設備(上海)有限公司の支店 深圳分公司を開設<br/>刺しゅう機能付きコンピュータミシン「ハイパークラフト1500」発売</li> <li>10 コーポレート・ガバナンス基本方針制定<br/>当社普通株式10株を1株に併合し、単元株数を1,000株から100株に変更<br/>ジャノメダイカストがホウセイ工業を吸収合併し、ジャノメダイカスト関西工場とする</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 北陸新幹線開業</li> <li>6 改正公職選挙法公布<br/>(選挙権年齢を18歳に引き下げ)</li> <li>7 アメリカとキューバが国交回復</li> <li>10 ノーベル生理学・医学賞に大村智、物理学賞に梶田隆章<br/>安全保障関連法成立</li> <li>11 バリで同時多発テロ</li> </ul> |
| 2016 | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 女性の役員・管理職登用に関する自主行動計画公表<br/>従業員が仕事と子育てを両立させることができる働きやすい職場環境づくりの自主行動計画公表</li> <li>5 中期経営計画「JANOME BREAKTHROUGH」発表</li> <li>6 卓上ロボット「JR3000シリーズカメラ搭載塗布仕様」発売<br/>眞壁会長 一般社団法人日本縫製機械工業会会長に就任<br/>監査等委員会設置会社に移行</li> <li>8 Bobinage オリジナルミシン「マノン」「カミーユ」「ロマーヌ」発売</li> <li>9 エレクトロプレス「JPシリーズ5」発売</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 日銀、マイナス金利政策導入<br/>マイナンバー(個人番号)制度開始</li> <li>3 北海道新幹線開業</li> <li>4 熊本地震発生</li> <li>6 イギリスの国民投票でEU離脱派が勝利</li> <li>10 ノーベル生理学・医学賞に大隅良典</li> </ul>                   |
| 2017 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「セシオ9900」発売</li> <li>4 基板分割ロボット「JR3000ERT」発売</li> <li>5 「第1回JANOME European Institute 2017」を開催(ポルトガル・アルガルベ)</li> <li>6 10年ぶり配当実施(1株当たり10円)</li> <li>8 「Memory Craft 6700 Professional」と「HORIZON Quilt Maker Memory Craft 15000」の発表会を開催(オーストラリア・シドニー)<br/>「Janome America City Limits Tour」を開催(全米5都市)<br/>1頭7針刺しゅう機「MB-7」発売</li> <li>9 ディスクロージャー・ポリシーを公表</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 トランプがアメリカ大統領就任</li> <li>6 天皇退位特例法成立</li> <li>7 九州北部で記録的豪雨<br/>日本とEUが経済連携協定(EPA)で大筋合意<br/>国連で核兵器禁止条約採択、日本は不参加</li> </ul>  |

| 年    | ジャノメの出来事  | 社会の出来事  |
|------|---|---|
| 2018 | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 スカラロボット「JS3シリーズ」発売</li> <li>7 「MYLOCK AIR 2000D」国内発売</li> <li>8 刺しゅうアプリ「AcuSketch」の配信を開始<br/>スマートフォンやタブレットをワイヤレス操作端末とした小型刺しゅう専用マシン「IJ521」発売</li> <li>10 「Memory Craft 6700 Professional」が北米の国際的デザイン賞IDEA 2018のファイナリストに選定される</li> <li>11 「Memory Craft 6700 Professional」「MYLOCK AIR 2000D」が2018年度グッドデザイン賞をダブル受賞</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>6 働き方改革関連法成立<br/>改正民法成立(18歳を成人とする)</li> <li>7 西日本豪雨</li> <li>10 ノーベル生理学・医学賞に本庶佑</li> <li>12 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定発効</li> </ul>   |
| 2019 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 「Air Thread 2000D PROFESSIONAL」がドイツのデザイン賞 iF DESIGN AWARD 2019を受賞</li> <li>2 コンピュータミシン「Memory Craft 9450QCP」発売</li> <li>5 中期経営計画「JANOME 2021 Navigation for the Future」発表</li> <li>6 大場社長 会長に就任、齋藤真 社長に就任<br/>買収防衛策の廃止</li> <li>7 ジャノメタイランド創立30周年および新倉庫棟落成記念式典開催<br/>ジャノメ台湾創立50周年およびジャノメ台湾協力会成立40周年記念式典開催</li> <li>8 「Institute Impact 2019」を開催(アメリカ・ジョージア州アトランタ)、「Continental M7 Professional」および刺しゅう専用マシン「Memory Craft 550E」を発表<br/>「AIR ARTIST (521型)」が北米の国際的デザイン賞IDEA 2019のファイナリストに選定</li> <li>10 エレクトロプレス「JP-S2シリーズ」発売<br/>ジャノメオーストラリアが設立50周年記念カンファレンスを開催<br/>ジャノメメキシコサービスをジャノメメキシコ有限会社に改称し、メキシコ・ケレタロに産業機器販売拠点設立</li> <li>11 イオン新潟東店に「ジャノメソーイングパーク新潟」をオープン(長岡より移転)</li> <li>12 当社グループ ミシン生産累計7,000万台達成<br/>統合報告書「JANOME REPORT 2019」発刊</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 パリのノートルダム大聖堂で火災</li> <li>5 皇太子徳仁親王殿下即位、「令和」と改元(1日)</li> <li>9 ラグビーW 杯日本開催</li> <li>10 消費税率10%に引き上げ<br/>ノーベル化学賞に吉野彰<br/>沖縄首里城火災</li> <li>12 イギリス総選挙で与党保守党が単独過半数を獲得、EU 離脱問題に決着</li> </ul>                                |
| 2020 | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 「Continental M7 Professional」がiF DESIGN AWARD 2020を受賞</li> <li>4 創業100周年記念ロゴ制定<br/>新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令に伴い、一部直営支店一時休業<br/>「Continental M7 Professional」がレッドドット・デザイン賞のred dot winner 2020を受賞</li> <li>10 創業100周年記念ミシン「Épolku (エポルク)」発売<br/>創業100周年記念サイトオープン</li> <li>12 刺しゅう機能付きコンピュータミシン「セシオ9720P」「ハイパークラフト850」発売</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 WHO、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)でパンデミックを宣言<br/>東京のJR山手線に新駅「高輪ゲートウェイ」開業</li> <li>4 新型コロナウイルス感染拡大で日本国内に初の緊急事態宣言発出</li> <li>6 中国で香港国家安全維持法施行</li> </ul>   |
| 2021 | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 エレクトロプレス「JP シリーズ 5」両手押しスイッチ仕様発売</li> <li>3 24時間風呂の販売終了</li> <li>4 100周年記念企画「これからの100年へ縫いつなげよう」を実施</li> <li>8 職業用ミシン「haute couture (オートクチュール) 1000」を1,000台限定で発売</li> <li>9 「タンダレス・インサート自動挿入機」発売</li> <li>10 社名を株式会社ジャノメに変更(10月1日)<br/>日本経済新聞ほかに広告を掲載<br/>創業100周年を迎える(10月16日)<br/>卓上ロボット「JR3000シリーズ」ツインテーブル仕様発売</li> <li>11 創業100周年記念配当実施(1株当たり15円)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 国内で新型コロナウイルスのワクチン接種開始</li> <li>5 改正少年法公布</li> <li>6 育児・介護休業法改正(男性産休を新設)</li> <li>7 東京2020 オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催(~9月)</li> <li>8 タリバンがアフガニスタン首都を制圧</li> <li>10 コロナ対応の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が解除<br/>ノーベル物理学賞に眞鍋淑郎</li> </ul> |
| 2022 | <ul style="list-style-type: none"> <li>3 吉祥寺「Bobinage」オープン10周年</li> <li>4 サン・プランニングをジャノメサービスに吸収合併<br/>東京証券取引所プライム市場に上場<br/>最高級刺しゅう機能付きコンピュータミシン「Continental M17」を発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>2 ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始</li> <li>4 東京証券取引所市場区分再編</li> </ul>  |

## 編集後記

2019年、100周年事業の検討をする中で一番大きな難題が社史の制作でした。当社は50年史を作成して以降、社史・記念誌は作成しておらず「50年史後の歴史をゼロから執筆できるのだろうか？」そんな不安を抱きながらスタートを切りました。

100年史の制作を始めるにあたって「誰に読んでもらいたいのか」「何のために作るのか」を改めて考えることになりました。社員向けか、お客様向けか、投資家向けか、それとも歴史資料としたいのか……。これだ！という答えは見つかりませんでした。今、完成した社史を見返しても特定の読者に向けた内容にはなっていませんが、「何のために作るのか」の答えは見えてきました。お読みいただく方に伝えたいことはいくつかありますが、突き詰めると「当社のこれまでの歩みを辿ることによって、現在の当社を知っていただきたい。そして当社の未来に期待していただきたい。こういったメッセージ性のある社史を作りたい」という思いです。

資料収集の作業も難航しました。本社移転時に処分したのか、一部は散逸してしまったようでした。見つけた資料がいつのものか、何の写真か、その時代背景も判然としないものがあり、当時を知る人が残っていない中、一つひとつ地道に調べながら社史の中に取り込んでいきました。コロナ禍での活動の制約にも苦労しました。そんな中、50年史制作時のまとまった資料を見つけた時には、当時の担当者の苦労を共有できたような気持ちになりました。

また、作成を進めていく中では、色々な出会いがありました。現在の主力商品の当初開発者からは、貴重なお話を伺うことができました。創業者のご子息で元社員の方からは、往時の創業者の様子を聞くことができました。当社商品を愛用いただいている方から心温まるお手紙を頂戴し、ご厚意により本誌に掲載させていただきました。当社の企画にご参加され、多くの方がミシンにちなんだエピソードを寄せてくださいました。100周年事業を通じ、改めて私たちは多くの方々に見守られ、支えられている、という思いを強くしました。

制作開始当初は完成形の明確なイメージは持っていませんでしたが、編集を終えた今、形になったものを見てみると私たちが伝えたかったことは表現できているように思います。これもご支援・ご尽力いただいた皆様のお陰であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。本誌が一人でも多くの方の目に留まれば、これに過ぎる幸せはありません。

2022年6月  
総務部 社史編纂事務局